

# おおの森づくりプランの概要

## 計画策定の背景と目的

おおの森づくりプランは、本市の森林整備や森づくりの方向性を示すものとして作成する。

これまで、施業方法等を示す森林整備計画はあったが、森づくりの方向性などを示す計画がなかった。

本市の森林整備や林業従事者への支援、木材の利用などをどのように進めていくのかを取りまとめ、市民、関係者等と共有し、おおの豊かな森を次世代へ受け継いでいくことを目的とする。

プランは、上位計画の見直しや社会情勢の変化などを踏まえ、5年を目処に見直しを行う。

【計画期間：令和6年度～15年度】

## 森林を取り巻く現状

- 1 人工林（スギ）が、本格的な利用期を迎えている。
- 2 山村の過疎化・高齢化を背景に、所有者不在や境界が不明な森林が増えている。
- 3 木材価格の低迷により、主伐が進んでいかない。
- 4 森林への関心が低く、手入れがなされていない。
- 5 林業従事者の高齢化や減少が進んでいる。

## おおの森づくりに向けた基本的な考え方(3つの柱)

### I 環境保全の森づくり

森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させることに重点を置く。発揮を期待する機能に応じて整備の方向性を示す。

### II 資源循環利用の森づくり

主に木材生産機能の維持発揮を図る森林について、森林施業を進める。生産性の向上や林業従事者への支援を通じ、森林施業の促進を図る。

### III 参加する森づくり

森林や林業への関心を促し、木材の利用促進、森林施業の推進につなげる。

## 主な内容や取組

- 1 「環境保全の森」と「資源循環の森」を設定し、主伐・再造林を進める。
- 2 航空レーザ計測の結果を基に、所有者や境界の特定を進める。
- 3 県産材や市産材など地域産材の利用や、バイオマス発電所での活用を支援する。
- 4 森林環境教育や木育イベントを通じて、森林への関心を高める。
- 5 スマート林業の導入など、森林施業の効率化や生産性の向上を図り、人材確保・育成に努める。

## 「伐って、使って、植えて、育てる」資源循環利用サイクルの構築



## 「環境保全の森」と「資源循環の森」を設定し、主伐・再造林を推進

